

## 「平成19年能登半島地震」発生前の航空レーザ計測で得られた 詳細立体地形図の一般公開について

平成19年5月15日  
北陸電力株式会社

当社は、志賀原子力発電所の耐震安全性を確認するため、能登半島およびその周辺地域における地形および地質の調査を継続的に実施しています。

「平成19年(2007年)能登半島地震(3月25日)」の震源域周辺についても、精密な微地形情報を取得するため、平成18年秋に<sup>1</sup>航空レーザ計測を実施しており、そのわずか数ヶ月後に能登半島地震が発生し、直後にも再度航空レーザ計測を行いました。

地震発生直後だけでなく、直前にも余震分布域で精密地形計測を行っていたことは、世界でも過去に例がなく、わが国の地震研究の進展に大きく寄与し得る貴重なデータが得られたと考えています。

このデータを用いた解析の速報を5月19日から幕張メッセ国際会議場で開催される「日本地球惑星科学連合2007年大会」において発表し、さらに、5月18日から震源域における詳細な立体地形図(成果の一部)を自由に閲覧できるよう当社ホームページで公開いたします。

<http://www.rikuden.co.jp/>

今後も、地震による広域的な地殻変動、土砂崩壊等による地形変化などを面的に把握するため計測データの解析を進めていく予定です。

以 上

<sup>1</sup>航空レーザ計測：航空機から下方にパルス状にレーザを照射しながら飛行することで地表面の詳細な3次元座標を計測する方法

(参考資料)

1. 「日本地球惑星科学連合2007年大会」および当社発表の概要
2. 詳細な立体地形図等の公開 (当社ホームページ)

## 「日本地球惑星科学連合 2007 年大会」 および当社発表の概要

### 1. 「日本地球惑星科学連合 2007 年大会」の概要

会 期： 2007 年 5 月 19 日(土)～24 日(木) 6 日間 当社発表は 5/19(土)

会 場： 幕張メッセ 国際会議場（千葉市美浜区中瀬 2-1）

主 催： 日本地球惑星科学連合

（地球物理学、地質学など地球惑星科学関連のほとんどの学会が加盟し、地球や惑星を研究する総合的な学会連合組織（05 年 5 月設立、加盟 46 学会、総会員数約 5.3 万人(06/10/3 時点)）。

内 容： 学術研究の発表

大会目的： 地球惑星科学に関連する研究者・学生の研究発表、情報交流の場として、関連する学会により構成され、広範な広がりをもつ地球惑星科学の研究者の連帯感、一体感を高め、この分野の学術の発展に寄与する。

（出典：日本地球惑星科学連合 H P <http://www.jpogu.org/meeting/index.htm>）

### 2. 当社発表の概要

表 題：「航空レーザ計測による能登半島地震発生前後の地形変化」

発表者：北陸電力(株)、アジア航測(株)、東京大学地震研究所

内 容：北陸電力では、能登半島およびその周辺地域における地形および地質の基礎調査を継続的に実施している。

「平成19年(2007年)能登半島地震(3月25日)」の震源域周辺についても、精密な微地形情報を取得するため、平成18年10月から12月にかけて航空レーザ計測を実施しており、そのわずか数ヶ月後の地震発生直後の3月26日および4月7日にも再度航空レーザ計測を行った。

地震発生直後だけでなく、地震発生直前にも余震分布域で精密地形計測を行っていたことはこれまでになく、非常に貴重なデータが得られたと考えている。

今回、取得された2時期の面的なデータ同士を比較することによって、垂直変位量だけでなく水平変位成分も抽出できると考えられることから、地震による広域的な地殻変動、土砂崩壊等による地形変化を面的に把握する基礎資料を得るため、慎重に計測データの解析を進めている。

発表当日には、このデータ解析の速報を発表するとともに、DMC(最新鋭デジタル航空測量カメラ)での撮影による約1億画素の高解像度カラー画像の解析も加え、その概要を紹介する予定である。

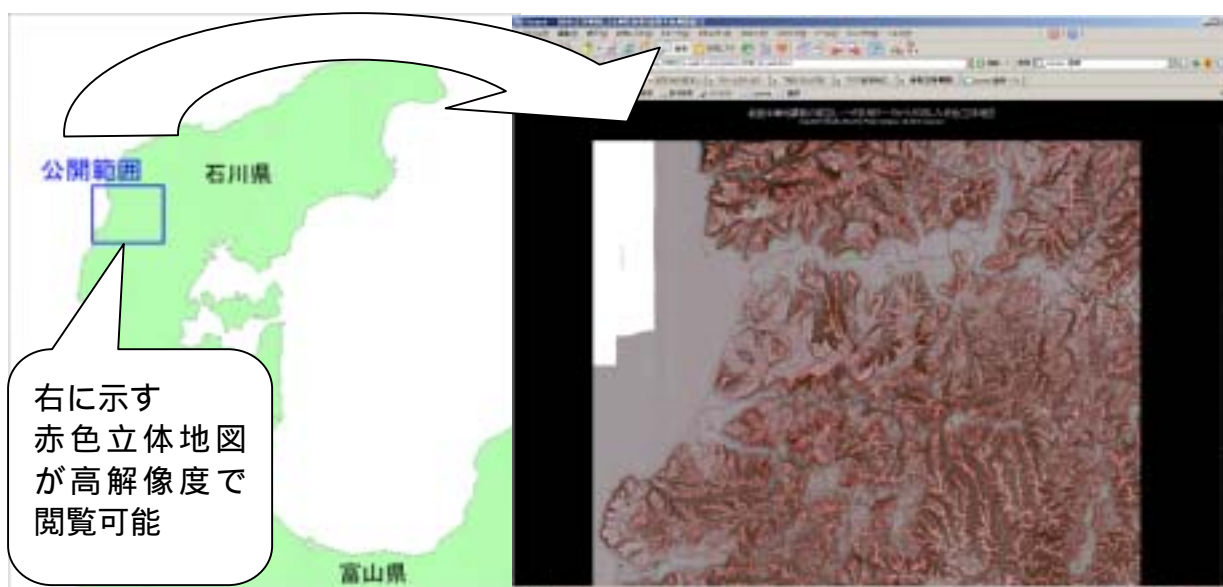
以 上

## 詳細な立体地形図等の公開（当社ホームページ）

これまでに取得したデータのうち、「平成19年(2007年)能登半島地震」の震源域付近における地震前の詳細な立体地形図等の一部を公開いたします。

5月18日以降、当社ホームページ <http://www.rikuden.co.jp/> にアクセスし、ご覧いただくことができます。

### ・地震前の詳細な立体地形図



赤色立体地図（地震前）公開範囲

以上